

【講演会詳細】

宇宙の天気：太陽から地球への風

中村 雅夫

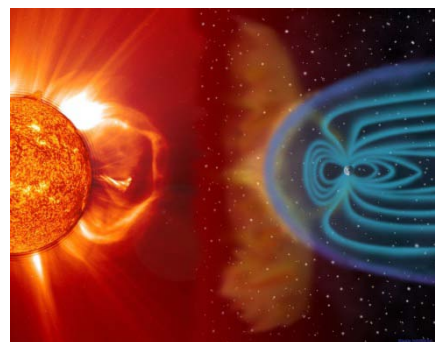
大阪府立大学工学研究科

(時間 18:00～18:50)

宇宙にも天気と呼ばれるものがあります。

それは、太陽からの風に支配され、幻想的なオーロラを引き起こしたり、時には人工衛星を破壊したりします。

講演では、太陽と宇宙の天気との関係についてお話します。



「太陽フレアと地球磁気圏」©NASA
太陽面における爆発と地球磁場の様子

アルマ望遠鏡で探る惑星と生命のルーツ

平松 正顕

国立天文台チリ観測所

(時間 19:00～19:50)

南米チリに作られたアルマ望遠鏡(※2)が、ついに本格観測を開始しました。

これまでの望遠鏡より 100 倍良い感度と視力で、様々な宇宙の謎に挑みます。今回は特に惑星の誕生や生命の起源をテーマに、アルマ望遠鏡が切り拓く新しい宇宙をご紹介します。



モリタアレイ(※3)など ALMA の望遠鏡群

画像提供：国立天文台

用語解説

- ※1 **Mitaka** : 国立天文台 4次元デジタル宇宙プロジェクトで開発している、天文学の様々な観測データや理論的モデルを見るためのソフトウェア。地球から宇宙の大規模構造までを自由に移動して、宇宙の様々な構造や天体の位置を見ることが可能。
<参照>国立天文台 4次元デジタル宇宙プロジェクト

- ※2 **アルマ望遠鏡** : 東アジア・北米・ヨーロッパ・チリ等が協力して進めている国際プロジェクト。直径 12mのアンテナ 50 台と「モリタアレイ」と呼ばれる 16 台をチリ・アンデス山中の標高 5000m の高原に設置し運用する画期的な計画である。
<参照>国立天文台 ALMA ホームページ <http://alma.mtk.nao.ac.jp/j/aboutalma/>

- ※3 **モリタアレイ** : アルマ望遠鏡で日本が開発を担当した直径 7m 電波望遠鏡が 12 台、直径 12m 望遠鏡が 4 台からなる干渉計システム。これを設計した故森田耕一郎教授の名前を冠してモリタアレイと名付けられた。2013 年 4 月 26 日（チリ時間）、モリタアレイの全てのアンテナが標高 5000m の山頂施設に設置された。